

S R O の 改 革 素 案 (SECコンセプトトリリース)

	メリット	デメリット
①現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 金融イノベーションへの対応(市場を熟知したものが規制を行うというSROのメリット) 	<ul style="list-style-type: none"> 規制の重複 複数のSROによるルール解釈・適用の齟齬 市場運営機能と規制監督機能の利益相反 取引所の株式会社化に伴う利益相反
②規制機能と市場機能の別会社化 例:NASD	<ul style="list-style-type: none"> 利益相反の軽減 反競争的なルールの排除 	<ul style="list-style-type: none"> 規制の重複 親会社の関与による利益相反
ハイブリッド型	<ul style="list-style-type: none"> ③【ハイブリッド】会員管理と市場管理を分離し会員管理を中央SROが担う 検査の重複軽減 会員規制と市場規制の分離による利益相反の排除 市場管理と市場運営者が同一主体(SROのメリット) 	<ul style="list-style-type: none"> 会員規制と市場規制の境界線の不明確さ 市場管理と市場運営者による利益相反
	<ul style="list-style-type: none"> ④【競争的ハイブリッド】会員管理SROと市場管理SROを分離 現状体制からの移行がハイブリッド型よりも容易 会員管理SRO間の競争による規制コストの軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 規制の重複
⑤自主規制機能の一本化	<ul style="list-style-type: none"> 規制重複の除去 利益相反の除去 SECの権限巨大化の回避 	<ul style="list-style-type: none"> SECのコピー 市場の運営と管理が独立しておりSROのメリットの喪失
⑥SROではない統一的規制機関 例:PCAOB	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッドモデルの会員規制と市場規制の境界線の排除 各種利益相反の排除 	<ul style="list-style-type: none"> 予算上の問題 金融イノベーションへの対応不備(SROのメリット)
⑦SROを廃止し、SECが全ての機能を担う。	<ul style="list-style-type: none"> 業界利益偏重のクラブ的性格の除去 規制の重複の除去 市場運営と自主規制の併営に伴う利益相反の除去 SECの権限強化 	<ul style="list-style-type: none"> 市場を熟知した市場開設者が規制を行うというSROのメリットの喪失 予算上の問題